

北海道新幹線開業により身近となった青函圏域において、さらなる観光流動に繋げていくための戦略を探るフォーラムです。

令和7年度 青函圏フォーラム

「北海道新幹線開業10周年
ぐっと近づいた青函圏の観光戦略を探る」

日時 令和8年**2月19日**木
13:30~15:40(開場13:00)

定員 先着100名 **入場無料**

場所

プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館
3階「カメラI」
函館市若松町14-10 電話 0138-22-0111

基調講演

【演題】

「北海道新幹線開業で変化した青函圏の観光動向と青函圏の観光戦略について」

◎講師：(株)JTB総合研究所主席研究員 **吉口 克利氏**



(株)JIC(現JTBコミュニケーションデザイン)主任研究員、(株)サーベイリサーチセンター 新規事業開発部長等を経て2016年4月より現職。観光計画・戦略策定、観光マーケティング、地域ブランディング、DMO形成、プロモーション、関係人口等、国・自治体などの様々な観光関連事業に携わる。

博士(社会学)千葉大学人文社会科学系教育研究機構 教授

共著：『コンテンツツーリズム入門』古今書院、『観光的なものを組みなおす文化・歴史・倫理の観光社会学』公人の友社 他

【近年の実績】

- ・日本の新たなレガシー形成事業／高千穂町(観光庁2024)
- ・九十九里地域のポテンシャルや地域資源を有効活用した観光振興施策検討業務(千葉県2023)
- ・千葉県観光人材育成セミナー／観光マーケティングセミナー(千葉県2023-2024)
- ・国立公園における自然体験コンテンツガイドラインを活用したコンテンツの高付加価値化及び支援等業務(環境省2022~23)
- ・国立公園満喫プロジェクトにおける自然体験コンテンツのガイドラインに係る調査等検討業務(環境省2020-21)
- ・インバウンド観光消費額向上事業(新潟県2021~2023)
- ・京都府観光客動向調査(京都府観光連盟2020-2022, 2024)
- ・観光消費額向上モデル事業(新潟県2020-2022)
- ・訪日興味・関心層拡大に向けたマーケティング・フレームワーク構築事業(JNTO・2019)
- ・その他自治体観光振興計画、DMO形成支援等多数

パネルディスカッション

【テーマ】

「青函圏におけるこれからの観光戦略を探る」

コーディネーター：吉口 克利氏 (株)JTB総合研究所主席研究員

パネリスト：町田 直子氏 (株)ACプロモート代表取締役(八戸市)

高木まゆみ氏 (株)また旅くらぶ代表取締役(青森市)

北島 孝雄氏 (一社)木古内公益振興社道の駅みそぎの郷きこない代表理事(木古内町)

齊藤 亮氏 (一社)北斗市観光協会主任(北斗市)

●主催：青函圏交流・連携推進会議、北海道渡島総合振興局

令和7年度 青函圏フォーラム参加申込

★募集締切：2月17日**火**まで

応募概要

ネット申込

渡島総合振興局ホームページに掲載の応募フォームに必要事項を記入し、申込みをお願いします。



◀ホームページQRコード



◀応募フォームQRコード

FAX申込

下記参加申込書に必要事項を記載し、送信してください。

FAX 0138-47-9203

お申込みに関するお問合せ

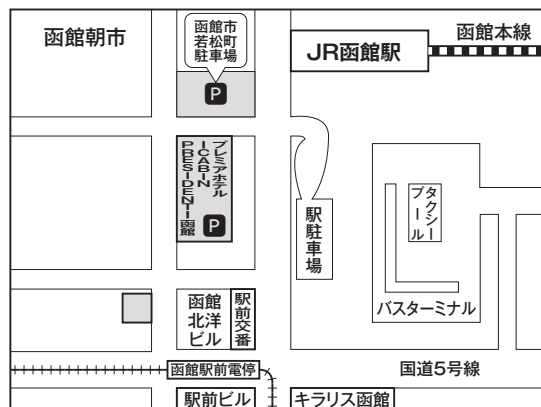
北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室
〒041-8558 北海道函館市美原4-6-16 TEL 0138-47-9431

【参加申込書】

団体名	
TEL	

役職名	氏名

※ご記入いただいた個人情報は、本事業の実施・運営のみに利用します。



※駐車場(3時間迄無料)に駐車できる台数には、限りがありますので、公共交通機関でのご来場にご協力ください。

青函圏交流・連携推進会議とは

昭和63年の青函トンネル開業を契機に、青森県と北海道道南地域(渡島・檜山地方)との交流拡大と連携強化を図ることを目的として、青函圏域の産学官が連携し設立した「青函インターブロック交流圏構想推進協議会」を前身としています。

平成23年度より、「青函圏交流・連携推進会議」に名称を改めるとともに、交流の裾野を広げるため、既存の構成団体に加えて交流・連携に取り組む民間の団体などに新たにご参加いただき、青函圏の交流・連携を推進する活動を行っています。

事務局：青森県・北海道